

# 元気に「人生100年時代」を生きぬく！



令和3年10月4日（月）に、東京大学高齢社会総合研究機構の神谷哲朗先生をお招きして、講演会を開催しました。会場には約70名の住民が参加し、フレイルとは何なのか、フレイル（虚弱）にならないためにはどうすればいいのかなどのお話に耳を傾けました。

講演の前には地域の活動紹介として、活動13年目に入る「赤とんぼの会」による東京ラフソディの音楽に合わせた体操の実演と、活動15年目の「ハ欽健康体操」のハ欽小唄に合わせた健康体操のDVDを上映しました。活動を紹介するたびに会場からは盛大な拍手が沸き上がっていました。

神谷先生の講演では、「老いは病気とは違って薬では治りません」「フレイル予防は地域づくり。地域づくりには、男性の力が必要です。いつも活発で元気な女性陣に混ざって、男性陣にも頑張っていたきたい。」という言葉が聞かれました。

『大豊町フレイル予防推進講演会』を開催！

## 意見書（賛成者・全員）

### コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

総務産業建設常任委員長 上池如夫

新型コロナウイルスの感染拡大は、甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、国民生活への不安が続いている。この中で、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、財政需要の増高が見込まれる社会保障等への対応に迫られており、このためには、地方税財源の充実が不可欠である。

よって、国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう十分な総額を確保すること、固定資産税は重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは行わず、生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は今回限りの措置として期限の到来をもって確実に終了すること、令和3年度税制改正により講じられた土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については令和3年度限りとし、自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長については行わないこと、炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分することを強く要望し、意見書を提出する。

## 議員提案による意見書（賛成者・全員）

### 学校における「免許外教科担任」の解消を求める意見書

提出者 前野 由和議員

提出賛成者 小笠原妙子議員・小川 智也議員・佐々木文三議員・三谷よし恵議員  
藤丸 高徳議員・上池 如夫議員・西村 正尚議員

大豊町では、現在中学校美術科及び家庭科の免許を持つ教員が配置されていません。

文科省は、平成30年に出した「免許外教科担任の許可等に関する指針」の中で、免許外教科担任制度は一年以内に限る臨時的な特別措置と明言しており、本制度の恒常的な活用は、免許主義を定める教育職員免許法（昭和24年法律第147号）の下でも問題があります。

また、これは大豊町だけの問題ではありません。高知県教育委員会によると、美術科教諭が配置されている学校は、県内108の公立中学校のうち48校に過ぎず、県内の大半の子どもたちが専門的な美術教育を享受できておりません。教員にとっても、専門でない教科を一から学び、教えることは多大な負担であることは言うまでもありません。

このような深刻な状況にもかかわらず、高知県における今年の美術科教諭の募集は「2名程度」とされていることから、免許外指導は構造的な問題であることがわかります。

また、問題は県が定める教員の配置基準にもあります。大豊町中学校をはじめ、中山間地域の過疎化が進む自治体では、地域唯一の学校でも各学年1学級の小規模校が多くあります。高知県は平成6年度に小規模中学校への教員配置を1名増やして7名（校長、教頭除く）とする改善を行いました。しかし、それでも県の配置基準では、各学年2学級の中規模校になってようやく9教科全ての教員が揃う基準になっており、県内の全中学校の約68%に当たる中学校で、そもそも全教科分の教員を配置できないことになっています。

中山間地域からの子育て世代のさらなる人口流出を防ぐためにも、地域の要である学校における教育の質を、待遇の悪い非正規雇用などに頼らない持続可能な形で保障すること、そして、教員がそれぞれの専門性を発揮できる教育環境を整備することが喫緊の課題です。

よって、県・県教育委員会においては、一刻も早く免許外教科担任の解消に着手すること。中山間地域等の小規模校でも9教科全ての教員が揃うよう、県の教員配置基準を是正すること。各教科ごとの免許外指導問題の現状把握と問題の要因分析（県内における各教科ごとの免許取得者数の推移、教員採用審査受審者数、離職者数の推移など）に基づく対策を取ることと必要に応じて国の支援を求めることを要望し、意見書を提出する。

## 編集後記

朝夕、秋の気配を強く感じるようになりました。

実りの秋。晩稲の刈り取りも終わり、農作業が一段落し、一息ついたころ、静かな雪の季節にはいります。

来年には、大豊学園という新しい校名で、小中一貫教育が始まります。

大豊町で学び、巣立って行く子どもたちに希望をたくし、精いっぱい応援をしようと思います。

今のところ、コロナ第5波も一応収束に向かっています。が、次の第6波が必ずくると予測されています。

そのようなか、2回目のワクチン接種から、8カ月後を目処に、3回目が目意されているようですので、接種に参加をいたしましょう。

お体をご自愛ください。

重森 一宗

## 百歳を迎えるご長寿さんへ

### お祝い状が贈られました

三谷茂子さん（怒田）が、百歳を迎える長寿のお祝と、多年にわたり社会の発展に寄与されたことへの感謝として、内閣総理大臣からお祝い状と記念品が贈呈されました。



頭を使って  
みんなで笑って  
一緒に健康麻将をしませんか

毎週金曜日午前9時から、総合ふれあいセンターで「健康麻将教室」を実施しています。健康麻将とは「賭けない・飲まない・吸わない」がモットーであり、認知症予防にもつながります。

先生の講義を聞いた後は、丁寧なあいさつから麻将を始めます。初心者の方は慣れた人にアドバイスをもらいながら、勝負もおしゃべりも楽しんでいます。卓を囲んでいます。



（地域福祉課 地域支援班 平石）